

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	右側？左側？大腸憩室出血はどちらが再発しやすいか？
研究責任者 (所属科名)	永田信二（消化器内科）
本研究の目的・意義	大腸憩室の所在によって再発しやすさが明らかになることで、退院後のマネージメントがかわる可能性がある。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2007年7月～2021年8月 研究期間：2022年12月までを予定
該当資料・データ	★対象となる患者様 2007年7月～2021年8月までに安佐市民病院にて、大腸憩室出血で入院している症例（両側大腸に憩室がある症例を除く） ★利用する情報 電子カルテに記載のある背景因子患（年齢、性別、併存疾患、内服薬など）、CT画像（憩室の所在）、内視鏡所見、臨床経過等
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 担当者：青山 大輝（部長）
備考	